

プラム・ブルーの特報 No.6

平成 29 年 6 月 9 日
J A 中野市営農センター
J A 中野市プラム部会

生育は平年並みに経過しており、結実状況は、大石早生、貴陽、太陽に芳しくない状態がみられますが、摘果、新梢整理など管理作業は遅れないよう進めましょう。また、大石早生の収穫始めも平年並み（南部-6月30日頃？）が予想されます。防除の際は、受粉樹への防除や散布死角がないよう徹底しましょう。

≪プラム薬剤散布≫ 隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい。

- ◆ **急な降雨があり、腐敗果が散見されたため、殺菌剤（ベルコートフロアブル）の使用を一旬早めています。**
- ◆ シンクイムシ類—摘果の際、被害果がみられます。特に被害果は園外へ除去してください。
- ◆ 薬剤散布は、ムラのないようたっぷりと散布しましょう！

・散布日：6月 日・散布量 0

・散布時期：	6月中下旬	(6月17日~6月21日頃)
・散布薬剤：	水	100ℓ当り
	(展着剤 10ml)	
	ベルコートフロアブル	50ml (収穫3日前、3回以内)
	アーデントフロアブル	50ml (収穫前日、3回以内)
・対象病害虫：	灰星病、(すす点病)・ハダニ類 (シンクイムシ類)	
・散布量：	10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ (散布むらのないよう、十分に散布する)	
・注意事項		
①	高温時の散布はさけてください。(薬害発生の恐れがあります)	
②	紅りょうぜん・秋姫・菅野中生で黒斑病(かいよう病)の発生がある場合は、バリダシン液剤5の500倍(14日前、4回)又は、スターナ水和剤1000倍(7日前、3回)を加用する。	

○スモモヒメシンクイムシ発生状況	()内前回調査数	
(各地区フェロモントラップ調査日:5/31)	*上今井地区-6頭⇔(7)	*倭地区-34頭↓(48)
(各地区フェロモントラップ調査日:6/5)	*深沢-0頭⇔(0)	*一本木-47頭↑(28)
	*西条-3頭↓(13)	*草間8頭↑(4)

≪プラム≫ 次回の散布 (大石早生最終防除)

・散布日： 月 日・散布量 0

・散布時期：	6月下旬~7月上旬	(6月27日~7月1日頃)
・散布薬剤：	水	100ℓ当り
	(展着剤 10ml ・ まくぴか 20ml)	
	バリアード顆粒水和剤	50g (収穫前日、2回以内)
・対象病害虫：	アブラムシ類、(モモノゴマダラノメイガ)、(シンクイムシ類)	
・散布量：	10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ (散布むらのないよう、十分に散布する)	
・注意事項		
①	展着剤は、ハイテンパワーがシリコーン系展着剤まくぴか5000倍を今回以降使用する。(湿展性改善)	
②	紅りょうぜん・秋姫・菅野中生で黒斑病(かいよう病)の発生がある場合は、バリダシン液剤5の500倍(14日前、4回)又は、スターナ水和剤1000倍(7日前、3回)を加用する。	

ブルーの薬剤散布は次頁をお読みください。

《ブルーベリー薬剤散布》 隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい。

- ◆ シンクイムシ類—摘果の際、被害果がみられます。特に被害果は園外へ除去してください。
- ◆ 薬剤散布は、ムラのないようたっぷりと散布しましょう！
- ◆ 2回分（6月中旬及び6月末～7月上旬）の散布を記載しています。

		・散布日	6月	日	・散布量	ℓ
・散布時期：	6月中旬	(6月14日～6月18日頃)				
・散布薬剤：	水	100ℓ当り				
	展着剤	10ml				
	フリントフロアブル25	50ml		(収穫前日、2回以内)		
	ダントツ水溶剤	50g		(収穫3日前、3回以内)		
・対象病害虫：灰星病（炭そ病）、シンクイムシ類、（カイガラムシ類）						
・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴 600ℓ （散布むらのないよう、十分に散布する）						
・注意事項						
① フリントフロアブル25に代えてナリアWDGの2000倍（前日、2回）でもよい。						
② シンクイムシ類の発生園は定期防除間にイカツチWDG1500倍（前日、2回）を特別散布する。						

《ブルーベリー》次回の散布

		・散布日	6月	日	・散布量	ℓ
・散布時期：	6月末～7月上旬	(6月29日～7月3日頃)				
・散布薬剤：	水	100ℓ当り				
	展着剤	10ml				
	フルーツセイバー	66ml		(収穫前日、3回以内)		
	バイスロイドEW	33ml		(収穫14日前、2回以内)		
・対象病害虫：灰星病・（炭そ病）・アブラムシ類・（シンクイムシ類）・（カメムシ類）						
・散布量：10a当り SS500ℓ 動噴 600ℓ （散布むらのないよう注意する）						
・注意事項						
① 果実病害の重要な時期であるので、果実にかかるよう十分散布する。						
② ハダニ類の発生園がある場合は、ダニゲッターフロアブル2000倍（前日、1回）を加用する。						
③ フルーツセイバーに代えてロブラール水和剤1000倍（前日、3回）でもよい。						

～ プラム特報号外（6/9号）もお読みください ～